霧島記念病院広報誌

2018年　春号（第26号）

Happy Happy

～喜びと共に～

新年度のご挨拶

一言　ご挨拶を申し上げます。

検査科便り

生活習慣による検査値の変化

薬局　とぴっくす

栄養だより

入院時の食費の負担額・居住費が変更になります

ご自由にお持ち帰り下さい！！

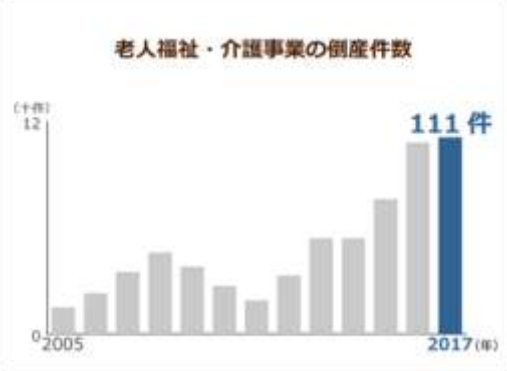
新年度のご挨拶

理事長・院長　坂元　健一

すっかり暖かい季節を迎えました。
皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？
新年度の始めにあたり一言ご挨拶申し上げます。

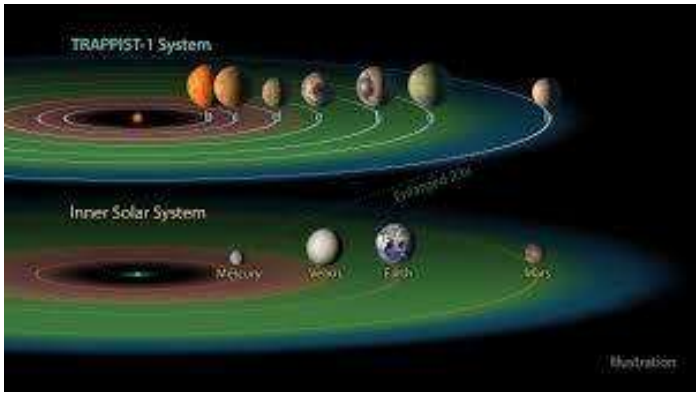
1）2017年度を振り返って

2017年度を振り返り世界を見渡しますと、1月に米国ではトランプ大統領が就任しアメリカ第一主義を主張し始め、時を同じくして北朝鮮からは核弾頭が日本上空を飛翔し、尖閣諸島は中国船が往来する波乱万丈な時代に突入しました。天皇陛下の退位の決定も驚きでした。福島原発の避難指示が解除となり、7年ぶりに浪江町に人が戻りました。科学面では地球系外惑星TRAPPIST-1の発見がありました。AIの進化にも目を見張るものがあり、いずれは医療分野全体にも浸透してくるものと思われます。スポーツではフィギアで浅田真央が引退し、男子は羽生結弦選手が金メダルを取りました。8月サッカー日本代表が初めてオーストラリアをホームで破りロシアW杯出場を決定しましたが、決定づけたのはチーム最年少ガンバ大阪の21歳井手口陽介選手の豪快なミドルシュートでした。陸上の桐生祥秀選手が100m走で日本人初の9秒台（9.98）を記録しました。14歳棋士、藤井四段が29連勝の新記録を達成も見事でした。若い世代の活躍・台頭が目立った年でした。経済的には景気動向指数はイザナギ景気を抜いて58か月の景気拡大と言われていますが、現実の生活感の好景気感は程遠い気がいたします。私達の医療業界は様々な規制が強化され、この20年で病院数は21764（1995年）→7426（2017年4月）と-65%と著明な減少の一途を辿っており、有床診療所数も9606（1995年）→8435（2017年4月）と-23%も減少しております。東京商エリサーチの調査によれば2017年の老人介護事業の倒産は111件と過去最多を更新し、急激に倒産が増えた2016年を上回り介護事業の困難な時代となりました。人口減少に加え、自民党の医療費の抑制政策が小泉政権以降で過去最大となり、医療機関の経営を圧迫し始めております。



対照的に2017年は当法人にとって飛躍の礎が出来た年でした。同年4月に鹿児島市立病院の元副院長で私の恩師である平原一穂先生を招聘することが出来ました。先生は福島孝徳教授の元で米国で学ばれ、帰国後は鹿児島県の脳神経外科の第一線でご活躍された名医であります。当院赴任後、手術はもとより外来診療に御尽力され、また明晰な分析で特に診療報酬の整備、改善に力を入れてくださいました。レセプト部門で着実に成果が出ております。誠に感謝申し上げます。外来では法人初のメディカルクラークが導入され3名のクラークが活動を開始しました。新人とは思えない能力を発揮して日々活躍し始めております。医師の負担軽減策として効果を認めております。また当法人は2017年10月に療養病床の施設基準(Ⅰ)も取得し、今後の政策上の病院として存続が決定的となりました。同12月当法人では長野律子アドバイサーのご指導の元組織作りを行い、各部署から優秀なスタッフが師長、副師長、部長等々選抜されました。各責任者の皆様のご活躍を期待しております。診療部門では神奈川県にある湘南鎌倉病院人工関節センターから巽一郎先生が来院され、市民講座が開催されました。また脳血管内治療においては福岡和白病院から私の大学医局時代の後輩である原田啓先生 が、東京の森山記念病院からは新百合ヶ丘総合病院でご一緒した朝来野圭三(あさぐのけいぞう)先生が来院されました。原田啓先生は元々山口大学脳神経外科時代の私の後輩で、学生時代は西日本医科学生体育大会の野球部門で優勝した際のピッチャーでエースでした。私が脳神経外科に勧誘して入局させました。私の後を続いて北九州の小倉記念病院脳神経センターで研鑽を積まれ、現在福岡を中心に年間300例のIVRをこなす九州でもトップクラスの脳血管内治療医・指導医となりました。朝来野先生は2012年から東京でご一緒に仕事をさせて頂きましたが、関東一コイルの使用率の高い名医としてその業界では知る人ぞ知る、IVRをされる日本でも屈指の脳血管内治療医・指導医です。いよいよ当院において難解な疾患に対しての高度な脳血管内治療が施される環境が完成しました。

2017年度は学会活動も盛んでした。年間を通じて合計19演題の発表を行い、また特に福岡で開催された日本脳卒中学会・脳卒中の外科において当院から7つの演題が採択され発表できたことは、通常の大学病院を上回る事であり、当法人始まって以来の歴史的快挙でした。当院における脳神経外科診療の質の高さを反映しているものと思われ、心から嬉しい出来事でした。



2）2018年度の医療業界と私達

2018年度が始まり、医療・介護で診療報酬のダブル改訂が行われました。当法人は改訂面でさしたる影響なく順調な方向のようで、私たちにとっては追い風となりそうです。2025年以降の医療を見据えたこの改定は未来において大きなインパクトを残すものと思われます。新年度、当法人にとって吉報が相次ぎました。まずはこの病床削減時代において、増床が認められ正式認可となりました。これをもちまして当法人は187床の病床となり、霧島市内では精神科の病院を除いて地域最大の病床数となりました。また同3月に鹿児島大学　脳神経外科教室に新任で吉本幸司教授が就任しました。私の鶴丸高校時代の学友であります。私の同級生は現在100名が医師として活躍しておりますが、鹿児島県内にはそのうち約70名が戻ってきております。県外で活躍していた30名のうち、吉本君は九州大学で3代の教授に御仕えして准教授となり、この度教授となり文字通り故郷に錦を飾りました。当方としても喜ばしい限りです。また同3月に看護部に中村冷子看護部長をお迎えしました。当法人設立40年目で初の看護部長就任となりました。とても素晴らしいご経験豊富な優れた方をお迎え出来、感無量です。これにより看護部は盤石の基盤が出来上がりました。中村部長は平原副院長ともご面識があられ、未来の新病院を造る看護部の大黒柱となられる方です。看護部の更なる発展を祈念しております。4月から当院は自衛隊鹿児島地方長認定協力事業所の認定を受けました。昨年度からの健診事業への取り組みが評価されたものと思われます。また私事で誠に恐縮ですが2018年4月末より姶良医師会の理事を拝命することになりました。救急担当理事として当地域の救命医療の発展に尽力したいと決意を新たにしております。2018年各部署それぞれ素晴らしい方々が集まりつつあります。2018年4月、総職員数も230名を超え、いよいよ巨大な集団となりつつあります。病院の理想に向かって邁進したいと思います。今年特に力を入れたい分野はハード面の充実と職員満足度ESの向上です。ハード面ではマルチスライスCTがいよいよ耐用年数を超え、64列orそれ以上のマルチスライスCTを導入予定です。遂に心血管の狭窄病変も描出可能となり、将来的な循環器のご発展にさらなる一歩となると思われます。ESについてはアンケートを行い面談予定です。

平成30年度診療報酬改定率

	改定率（比率）			国費ベース
全体	▲1.19%			
診療報酬本体	+0.55%	医科	+0.63%（1）	+600億円
		歯科	+0.69%（1.1）	
		調剤	+0.19%（0.3）	
薬価等	▲1.74%	材料	▲0.09%	▲100億円
		薬価	▲1.65%	▲1,800億円

3）新病院構想

今年は新病院に向けての準備年としても重要な年となります。様々な新病院の建設候補地があります。法人本体には新病院経営計画室を立ち上げました。当法人のメインバンクである宮崎銀行から新町真孝氏を室長としてお迎えし、プラン作りの原型が出来上がりつつあります。また具体的になりましたらご報告いたします。乞うご期待ください。

4）医療法人健康会開設40周年事業

今年は当院開院40周年を迎えます。夏に記念式典を計画しております。多数のご参加・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

5）最後に

2018年度、当地域における優れた外科系の病院として全員が大きな飛躍の年を迎えられるよう、全員で一致団結し、互いに健康管理面を気を付けつつ頑張りましょう。本年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

一言　ご挨拶を申し上げます。

看護部長 中村　冷子

ご縁があり、この3月より霧島記念病院の看護部長として着任させていただいております　中村冷子と申します。

霧島記念病院から眺める風景は、遠くに霧島連山、近くには農作業の風景や手入れされた野菜畑などが見られ、緑豊かな温泉のあるこの町で働けることをとても嬉しく感じております。長年鹿児島市内の医療機関で勤務し太陽を背に受けて通勤しておりましたが、こちらで働かせていただき現在は、東九州自動車道路を太陽に向かって元気に出勤しております。

私にとっての脳外科とのご縁は、鹿児島大学医学部付属病院に脳神経外科病棟が開設された年に看護師として配属され、上津原甲一先生や平原一穂先生と一緒に働かせていただいたこと、又　学生時代に脳外科の病院でアルバイトをしたことなども、懐かしく思い出されます。

着任1ヶ月ではありますが、霧島記念病院の職員について嬉しくまた心強く感じていることがあります。一つは、「脳外科で働きたい、救急搬送で来られた方達のお役に立ちたい」と希望して入職されたスタッフが多く存在するということです。救急車の受け入れは、多い日で一晩に9台もの数をお受けすることもあり、このスタッフの篤い思いに加えて、医師スタッフ間の盤石なチームワークがなければ成し得ないことだと思います。

通勤事情は鹿児島市内の場合は遠方から出勤されている方も多いのですが、こちらの職員はほぼ近隣からの通勤者ですので、霧島記念病院はまさに地域に根ざした地域を愛するスタッフに支えられているという状況にあり、また病院の理念に基づいた災害時活動研修への参加意欲も高く、心強い気持ちになります。

今後も高齢者の人口が更に増え続けていくため、医療機関の新たな役割として病気を治すだけでなく退院後もその人らしい暮らしを護り支えていくこと、地域を支えていくことが求められていくことになりますが、その役割を果たしていける人財が霧島記念病院には揃っていると感じています。

これから先も地域の皆様のお役に立てるよう、職員の方々と力を合わせて邁進して参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

お困り事や相談事などございましたら、是非ともお声かけください。

検査科便り

生活習慣による検査値の変化

年度が始まり、新しい環境にドキドキしている人は多くいらっしゃると思います。そんな方々が経験するのは健康診断です。就活生も就職後も健康診断は誰でも経験します。
注射が苦手な人や検尿が嫌な人も多くいると思います。検査結果を見ても、この数値はどうなの？尿検査のこの結果はどうなの？ということが多いと思います。
　今回はそれについて、簡単に何を見ているのかを説明していきたいと思います。ここでは、検査項目の意味を話していきたいと思います。こういった検査値が出たから、この病気なんだと思わないでください。まず、先生に話を聞いてみてください。先生の話を聞いて、生活習慣の改善を行えば、検査値は改善していくと思います。
　今回は尿検査について、説明をしていきます。

なぜ尿なのか？	尿は血液をろ過して、作られます。採血と検尿では、尿の方が痛みもなく、簡単に取れるからです。簡単に取れて、多くのことが分かるので、尿検査を行うのです。

尿の検査内容や検査項目の意味、検査結果の読み方について説明を行います。

検査項目	基準値	異常値となりうる生活習慣
ウロビリノーゲン	±	飲酒や肉食が続くと異常値になります。
潜血反応	－	女性は生理の前後で陽性になります。
ビリルビン	－	肝炎、肝硬変などの肝臓トラブルで陽性になります。
ケトン体	－	妊娠中、ストレス、過剰なダイエットで陽性になります。
尿糖	－	妊娠中、中高年では糖が出やすく、ストレスでも陽性になります。
尿蛋白	－	生理前後、過剰な運動、ストレスで陽性となります。
尿pH	6前後	野菜不足の時は酸性になります。
亜硝酸塩	－	尿の放置で異常となります。
尿比重	1.010～1.025	水分を大量に飲んだり、利尿剤の使用後に副作用で数値が低くなる

しかし、疾患によるものであれば、採血項目でも異常値を示します。
尿検査ではもう一つ大きな検査があります。それは沈査成分を見る検査です。
尿中に含まれる血球の数や細菌の数、細胞成分を人間の目で分類する検査になります。こちらは、尿の通り道にある細胞を見ているので、健康な人でも出てきます。
　最後に、尿はいつも私たちが排泄をしているごみのようなものです。ごみと思えるようなものでも検査をしてみると体の状態を知ることができます。

リハビリテーション科

～新入職員の紹介～

4月1日より、新たに理学療法士2名・言語聴覚士1名が入職しました。

理学療法士 堀切雄樹

平成30年4月1日に入職いたしました。
理学療法士の堀切雄樹と申します。
ご迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

理学療法士 坂元香子

4月に入った坂元香子と申します。
自分が出来る事は少ないですが、先輩方から指導していただき少しでも皆様の力になれるよう頑張っていこうと思います。
宜しくお願い致します。

言語聴覚士 小川原咲

私の長所はいつでも笑顔でいられることだと思っています。
病院内でもいつでも笑顔を忘れないよう多くの患者様と関わっていきたいです。
業務内容にも早く慣れ、一生懸命頑張りたいです。
よろしくお願いします。

新体制のリハビリテーション科を宜しくお願いいたします。

薬局　とぴっくす

2

お薬を飲む時の飲み物のお話

薬と一緒に飲むものとして無難なのは『水』と『さゆ』です。十分な水か、ぬるま湯で飲んでください。
薬の成分が水で薄められ、喉に付着して炎症を起こさない、胃の粘膜への刺激を少なくする、吸収を良くするなどの理由があります。ただし、水分制限されている場合は、医師の指示に従いましょう。
薄めのお茶はあまり問題ありませんが『濃いお茶』『ジュース』『牛乳』『アルコール』は、薬の吸収に影響し、効果に影響を及ぼすことから、避けた方が無難です。

お茶

かつて鉄剤などと一緒に飲んではいけないとされていたお茶も、濃茶でなければ、普通の緑茶やウーロン茶程度なら問題ないと、今では考えられています。

ジュース

一部の抗生物質を分解するので、避けた方がよいでしょう。胃腸薬に含まれる制酸剤などもジュースの酸のために作用が弱くなることがあります。またグレープフルーツに含まれる物質が一部の降圧剤の小腸での代謝を妨げるために、薬の血中濃度が上がり、血圧が下がりすぎたり、動悸などの副作用が出やすくなることがあります。

牛乳

牛乳はカルシウムを多く含みますので、影響が出る薬もあります。一部の抗生物質では、腸管からの吸収が妨げられ作用が弱められます。また、牛乳のＰＨ（6.4～6.8）により、腸で溶けるようにコーティングされている錠剤が胃で溶けてしまう心配があるものもあります。
例えば、ビサコジルを主成分とする市販の便秘薬では、「牛乳を飲んでから1時間以内の薬の服用を避けるように」との注意書きがあります。これは胃内で溶けると胃粘膜を刺激し、吐き気、胃痛などの副作用が発現し、さらに、薬本来の作用が弱まる可能性があるためです。

アルコール

古くからアルコールは「百薬の長」として愛飲されてきました。しかし、薬と一緒に服用すると問題があります。アルコール自体の中枢神経抑制作用や、肝臓で薬が代謝される時に影響を及ぼし薬の作用が強まったり弱まったりします。中枢に作用する睡眠薬、鎮静薬、鎮痛薬などは、アルコールと一緒に飲むと薬の効き目が強くなることがあります。薬によっては作用を遅らせることもあり、本来期待された薬効以外の有害な作用が現れることもあります。

栄養だより

暖かく、過ごしやすい季節になりました。
新年度が始まり、生活の変化、食生活が乱れがちになっていませんか？
しっかり朝食を食べていますか？朝はいつも時間がないから朝食を食べない、朝食より睡眠を優先にしたいと思っていませんか？朝食はお腹を満たすだけでなく、脳や体を目覚めさせ、活動するためのエネルギー補給や排便習慣を整えるなどの、大切な役割があります。

朝食を食べない

●イライラする
●集中力にかける
●勉強や仕事がはかどらない
●ボーッとする
●体が重い・だるい
●便秘になりやすい
●昼夕食のドカ食いに繋がり、
　肥満の原因になる可能性がある

朝食を食べる

〇イライラが抑えられる
〇集中力がアップする
〇記憶力がアップする
〇勉強や仕事がはかどる
〇やる気が出る
〇排便習慣が整う
〇体温の上昇

脳のエネルギー源であるブドウ糖の補給

私達の体は寝ている間もエネルギーを使っているので、朝起きたばかりの脳や体はエネルギー不足の状態になっています。その為、寝ている間に使われたエネルギーと午前中の活動に必要なエネルギーを朝食で補うことが必要です。特に脳のエネルギー源であるブドウ糖は、体内に貯蔵しておくことができないので、毎朝補給しましょう。
★ブドウ糖は、米、パン、芋類、果物などに多く含まれています。

☆朝食の内容

朝食を食べていない人は、おにぎりやパンなど手軽な物から試してみてはいかがでしょうか。食べる習慣が身に付いてきたら、主食（ご飯・パン）・主菜（肉、魚、卵、大豆製品）・副菜（野菜等）のバランスの良い朝食を摂りましょう。

入院時の食費の負担額が変更になります

〔入院時1食あたりの負担額〕

区分			平成28年4月1日から	平成30年4月1日から
①	現役並み所得者及び一般　※1		360円 →	460円
②	低所得者Ⅱ	90日以内の入院	210円	負担額の変更なし
		90日を超える入院　※2	160円	
③	低所得者Ⅰ		100円 （130円　※3）	

※1　指定特定医療を受ける指定難病の患者、H28.3.31時点で1年以上継続して精神病床に入院している患者等は、1食260円に据え置かれます。

※2　入院日数の算定は、長期入院該当の申請月以前の12か月の入院のうち低所得者Ⅱの認定を受けていた期間の入院日数であり、加入前の医療保険の入院日数も加算します。

※3　療養病棟に入院されている医療の必要性の低い方(医療区分Ⅰの方)は1食あたりの負担額は130円となります。

療養病棟・回復期リハビリテーション病棟に入院している65歳以上の皆さまへ

居住費が変更になります

〔1日あたりの居住費〕

	平成29年10月から	平成30年4月から
医療の必要性の低い方 (医療区分Ⅰの方)	370円	370円
医療の必要性の高い方 (医療区分Ⅱ、Ⅲの方)	200円 →	370円
・指定難病の方 ・老齢福祉年金受給者 ・境界層該当者	0円	負担額変更なし

※指定難病の方・老齢福祉年金受給者については引き続き負担を求めません。

※65歳未満の方や一般病棟に入院されている方は対象外です。

クローズアップ（職員紹介）

3月1日に回復期病棟に入職致しました。施設、病院勤務と経験してきました。回復期病棟は初めて勤務するのでまだまだ慣れない部分が多々ありますが、これからも一生懸命頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

介護職員　田畑弥生

昨年、12月に入職しました吉元です。
病院での業務が初めてで、ご迷惑お掛けしますが宜しくお願い致します。

介護福祉士　吉元　博貴

今年4月から、入職しました船迫　雄也です。
この度は、入職でき嬉しいです。
まだ、分からないことが多く周りの方々にご迷惑をおかけしますが、少しでも早く仕事を覚えながら努力して周りの方々のお役に立てるよう仕事に取り組んでいきたいです。
宜しくお願いします。

中村　船迫　雄也

「平成30年1月より一般病棟に勤務させていただいております。以前勤務していた病院より忙しくなりましたが、学ぶことも多く、働く環境も良いので、やりがいを感じながらも楽しく働かせていただいています。まだまだ不慣れな点が多いと思いますが、少しでも早く皆さんのお役に立てるように、患者さんに安心・安全な看護を提供出来るように、日々精進して参りたいと思います。今後とも、宜しくお願い致します。」

看護師　稲留　智実

医療法人　健康会

霧島記念病院

診療科目
脳神経外科・内科・リハビリテーション科・頭頸部外科・救急救命科
病床数　　１６８床
〒８９９－４３２２
鹿児島県霧島市国分福島１－５－１９
ＴＥＬ．０９９５－４７－３１００
ＦＡＸ．０９９５－４８－７３１２
http://kirishima-memorial.jp/

交通案内

九州自動車道　溝辺空港インターより車で	２０分
東九州自動車道　隼人東インターより車で	５分
ＪＲ国分駅より車で	１０分
ＪＲ隼人駅より車で	１０分

編集後記

新年度を迎え新入職者も入って来られました。5月に入り徐々に仕事にも慣れて来たと思います。今回も様々な情報を掲載させていただいてます。気になることなどありましたら、お近くの職員にお声掛け下さい。

霧島記念病院　広報委員　井手